

箕面ユネスコ協会 ニュースレター

発行 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
箕面ユネスコ協会事務局
〒562-0013 箕面市坊島 4-5-20
みのおキューズモール2Fみのお市民活動
センター内 箕面ユネスコ協会 (メールボックス)
E-mail sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp



- ◆ 目次 ◆
○ 活動報告
○ お知らせ

♪ホームページ折々に更新中!
「箕面ユネスコ協会」
で検索してください♡

● 「3.11を忘れない」講演会&気仙沼の食とお酒を楽しむ会に参加して

箕面市立萱野小学校 副校長 西山 央

■ 第1部 ユネスコ講演会

大阪市西成区鶴見橋中学校の川島 彰充先生と、箕面市立南小学校の陳 克弥先生から、それぞれ「大切な命」をテーマに各校の取り組みをご紹介いただきました。



まず、南小の陳先生から6年生の総合学習で取り組んだ「伝える、つながる、創る防災」についてお話がありました。箕面ユネスコさんの協力も得ながら、児童は被災地のことや、防災、被災者支援の大切さを学ぶ中で、学習意欲がどんどん高まっていったそうです。また、授業の一環で鶴見橋中学校の2年生から、ボランティア活動を通して感じたことや、被災された方々への思いを発表してもらった際には、中学生の先輩の熱心な取り組みをみんな真剣に聞いていたそうです。その影響を受けて、授業後に行った小学校の避難訓練では、6年生はこれまで以上に素早い避難行動が取れたそうです。教員からだけでは

なく、子どもから子どもへ思いを伝えることで、しっかりと防災意識が高まった手ごたえを感じたそうです。

川島先生から、鶴見橋中学校の「人権防災学習」の取り組みについてご紹介いただきました。以前は、家庭環境や学力に課題がある生徒が多く、学校全体の雰囲気やしんどい時期があったそうですが、東日本大震災を契機に生徒の意識が大きく変わったそうです。特に生徒会の代表が、被災地を実際に訪れ、被災された方々の思いを聞き、その報告を全校生徒に行った際には、今までになく、生徒は真剣に話を聞いていたそうです。そこから、生徒たちが子ども防災プロジェクトチームを立ち上げ、募金活動や、被災地で育ったひまわりの種を育て、笑顔を広げていく「ひまわりプロジェクト」、地域の方々も参加して、「避難所訓練合宿」を実施される等、その活動はどんどん広がったそうです。先生方のお話を伺い、「出会い」や「つながり」が人を育て、新たな取り組みを生み出せるエネルギーになっていることを強く感じました。ボランティア活動は「時間」を与える代わりに「生きる意味をもらう」と川島先生がおっしゃっていた言葉に深く感銘を受けました。



…2面に続く…

■ 第2部 気仙沼の食材とお酒を楽しむ会

会場に入ると、立派な「大漁旗」や、色鮮やかな「坂口会長特製の絶品はらこ飯」「新鮮な三陸の海の幸」が出迎えてくれました。もちろん東北の美味しい地酒も！坂口会長をはじめ、プロ顔負けの腕前で調理いただいた皆様の美味しい料理をいただきながら、様々な分野で活躍されている皆様との交流は大いに盛り上がりしました。各テーブルでは、被災地への思いや、最近の支援活動の状況など、話が尽きることはなく、時間がいくらあっても足りない様子、一升瓶も見ると減っていききました！赤ちゃんから人生の大先輩まで、新しい絆やつながりが生まれた一夜になりました。改めて、3.11を忘れずに、自分でできる被災地支援を考えていきたいと思えます。箕面ユネスコを中心とした支援の輪がこれからもどんどん広がり、また次回も多くの方と出会えることを楽しみにしています。ありがとうございました。

(西山 央)



チーム・ユネスコが腕を振りました！



● 第4回 岡山県倉敷市真備町でのボランティア活動を実施しました

12月23日に岡山県倉敷市真備町で、災害支援ボランティアを行いました。今回も箕面アサンプション国際高校、青山大学の学生さん、暮らしづくりネットワーク北芝、教職員の方など22名の参加でした。今回は作業の合間に地域の皆さんとたたこ焼き交流会をしました。



午前中は、3軒のお家に分かれて全員で作業にかりました。たこ焼き器具や材料を調達して下さった中村雄介さんや辻田夫妻を中心としたたこ焼き部隊は、以前にご自宅の作業に入らせていただき、店舗営業を再開している「住まいるネット真備店」の店舗前をお借りして準備を始めました。

心配していた小雨が降ってきましたが、め組 JAPAN の今井さんがすぐにテントを用意して下さいました。火加減に苦労しながらも皆でワイワイ賑やかに焼いたたこ焼きを、住まいるネットのご主人が近所の方々に運んで下さり、近所の方々も美味しかったと足を運んで来られました。前回、ご自宅の作業に入らせていただいた民生委員の長江さんもお近所さんを誘って来て下さり、たこ焼きを実現して下さいたのねと喜んで頂けました。その日に避難所から戻られた方や久しぶりに顔を合わせたご近所さん同士の交流の場ともなり、本当に良かったです。用意していた約1000個分のたこ焼きは、ボランティアメンバーのお腹も満たし、すべて完食しました。住まいるネットさんからの差し入れのコーヒーで一息入れ、現場の作業に戻ることができました。最後のふりかえりで、各地から来られているボランティアのメンバーからも喜びの声を聞いた後、箕面アサンプション国際高校の黒田君とハリスケイン君からサプライズのクリスマスプレゼントのお菓子を全員に配って頂き、更に温かい気持ちになりました。



私が初めて真備町のボランティアに参加した時に、各地から多くの若者や家族を連れて自発的に参加されている事に感心しました。そして、め組 JAPAN の今井さんの「被災された方の大切なお家をきれいにして、

笑顔になってもらいましょう」というお話のもと、ボランティアに来ている皆の共通の思いが、喜んでもらいたい役に立ちたいということで快く作業をしているので、誰もやらされているのではなく楽しみながらやっていて、清々し気持ちになりました。毎週明石から足を運んでいるというボランティアの方が、自分が癒されているとおっしゃったことがわかる気がしました。災害の被害に遭われた方々のお気持ちは、想像を絶するものではありませんが、これからも長く長い支援を続けていければと思います。

(坂口 一美)



● 箕面市立豊川南小学校6年生

大切な命 ～震災から学ぶ～

2019年1月17日豊川南小学校の6年と出会いました。

24年前1995(平成7)年1月17日午前5時46分、淡路島北端を震源とする兵庫県南部地震が発生しマグニチュード7.3で震源の深さは約14キロ。神戸市・芦屋市・西宮市と淡路島の北淡町で初めて震度7の激震でした。阪神・淡路大震災の日であり、防災とボランティアの日でもあります。朝、豊川南小学校を訪れると、全校で、保護者の方や、地域の皆さんと一緒に防災訓練が行われていました。



授業では、2011年3月11日午後2時46分。三陸沖を震源に巨大地震が発生した東日本大震災を通し命の大切さについて話し、身近なところで起こった2018年6月18日(月)起こった大阪北部地震の話などを通し、皆はこのとき、どこで、(家、学校、通学途中)どうしていたか?どのような思いだったか。

毎年迎える、1, 17, 3, 11は「大切な命を」忘れてはいけない日であることをお話しました。

(坂口 一美)

ユネスコ
リーフレットコンテスト

WEB コンテストに投票を!
「ユネスコ リーフレット」で投票ページへ。2月末まで

出会って学ぼう!～世界編～

豊川北小学校5年生のみなさんが参加しています!



Vol.28でお伝えした通り、リーフレットづくりにチャレンジしたグループのメンバーが、日本ユネスコ協会連盟が「世界寺子屋運動」の一環として行っているリーフレットコンクールに参加しています。箕面市より個々に与えられたばかりのタブレット型PCを使つての活動です。ふさわしい画像を選び、コピーを考え…と、一からがんばって取り組んだそうです。ぜひWEBページご覧ください。

真備ボランティア募集

(岡山県倉敷市真備町 日帰り)

西日本豪雨で被害にあわれた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

箕面ユネスコ協会では、2月23日、3月16日岡山県真備地区へのボランティア活動を実施します。継続的なボランティア活動を行う予定です。参加を検討される方は下記アドレスに連絡ください。

現地に入る入らないに関わらず、ボランティア活動の情報提供を希望される方は、箕面ユネスコ協会ホームページ「箕面ユネスコ協会西日本豪雨災害ボランティア」への登録をお願いします。

参加申し込みは下記へ

E-mail sakappmm@skyblue.ocn.ne.jp Fax 072-728-3544